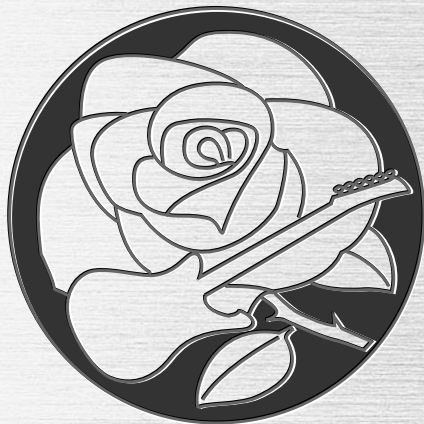




ELECTRIC GUITAR

# *Terry & Blue Jeans Custom*

TBJ CST



青木夕史  
Terry & Blue Jeans

取扱説明書

## ご使用上の注意

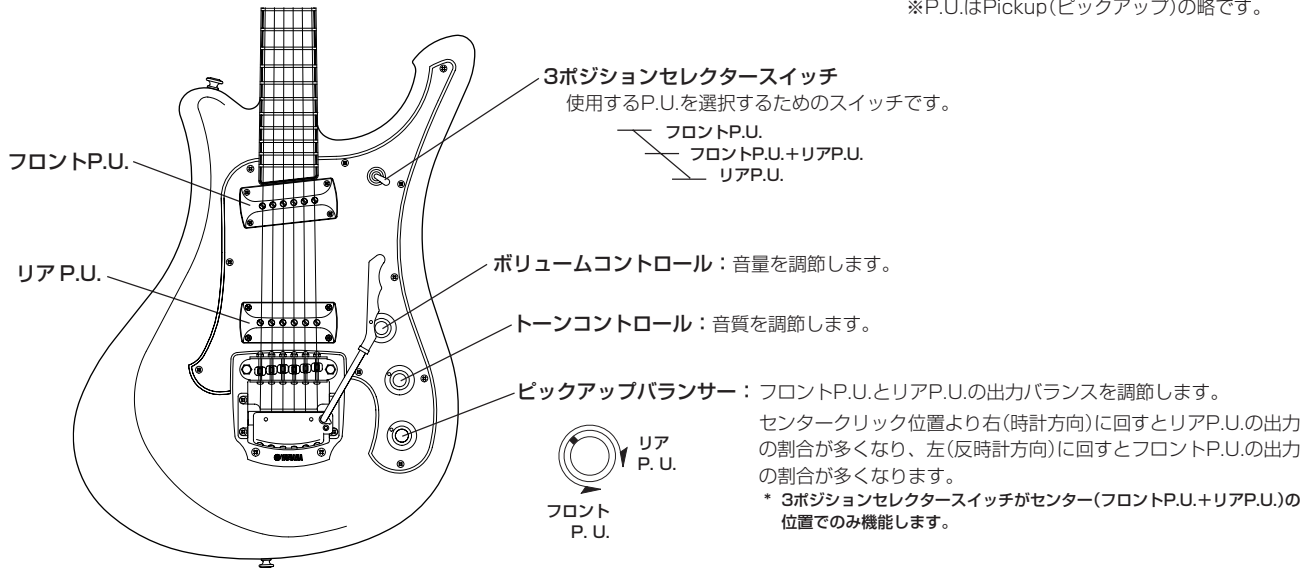
このたびは、YAMAHA エレクトリックギターをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

優れた性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。また、取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

- シールドコードの脱着時には、ギターアンプ等の電源をOFFにするか、またはギターアンプ等のボリュームを絞ってください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- スイッチやツマミなどに無理な力を加えないでください。
- 外装をベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。なお、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布しないでください。
- 次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
  - ・ 温度の特に低い場所、または高い場所。
  - ・ 湿気やホコリ、振動の多い場所。

## ツマミおよびスイッチの働き

※P.U.はPickup(ピックアップ)の略です。



## 弦の交換

本モデルの糸巻には、演奏時の弦のゆるみを防止する弦ロック機能が付いています。

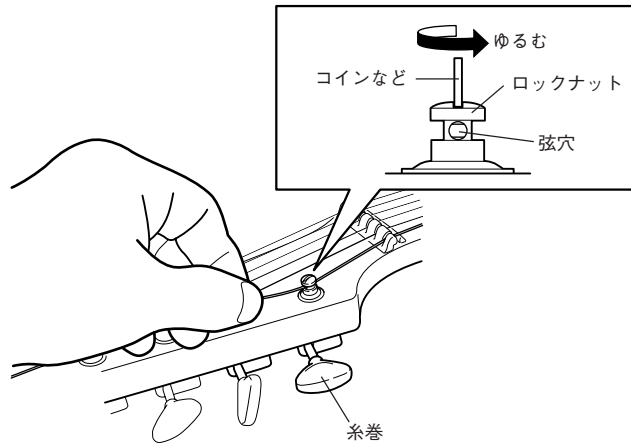
1. 弦が切れてしまった場合は、コイン等でロックナットをゆるめ(左：反時計方向に回す)、弦ロックを解除します。

弦が切れていない場合は、弦をゆるめる方向に糸巻を回していくと、弦ロックは自動的に解除されます。

\* 弦が切れていない場合は、コイン等でロックナットを回しても弦ロックを解除できません。

2. 古い弦を外し、トレモロユニットの後部から新しい弦を通します。
3. コイン等で糸巻のロックナットをゆるめ(左：反時計方向に回す)、糸巻の弦穴に弦の通るすきまを作ります。
4. 弦穴に弦を通し、弦の先を引っ張りながら糸巻を巻き上げ方向に回していきます。糸巻を回していくとロックナットが回り、弦は自動的にロックされます。弦がロックされたら、弦を引く手を離します。

\* 糸巻(ストリングポスト)への弦の巻き付けは1回転未満にしてください。それ以上巻き付けると、弦ロック機能が十分に効かなくなります。



## オクターブピッチの調整

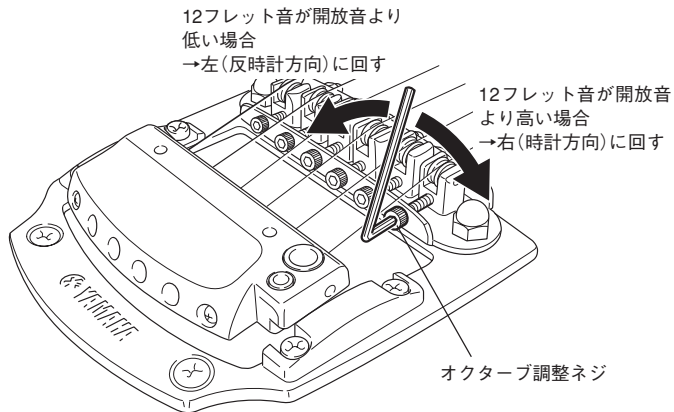
開放音と12フレットを押さえた時の音(1オクターブ高い音)が同じになるように調整します。

オクターブピッチが合っていない場合は、ブリッジのオクターブ調整ネジを回してピッチが同じになるように調整してください。

\* オクターブ調整ネジの調整には、付属の六角レンチをお使いください。

- ・ 12フレットを押さえた時の音が、開放音よりも高い場合  
→ オクターブ調整ネジを右(時計方向)に回す。  
(サドルをネックと反対方向に移動する)
- ・ 12フレットを押さえた時の音が、開放音よりも低い場合  
→ オクターブ調整ネジを左(反時計方向)に回す。  
(サドルをネックと反対方向に移動する)

本モデルにセットされている弦は、寺内氏の専用弦です。  
また各種調整箇所は、すべて寺内氏と同様のセッティングで  
出荷されております。

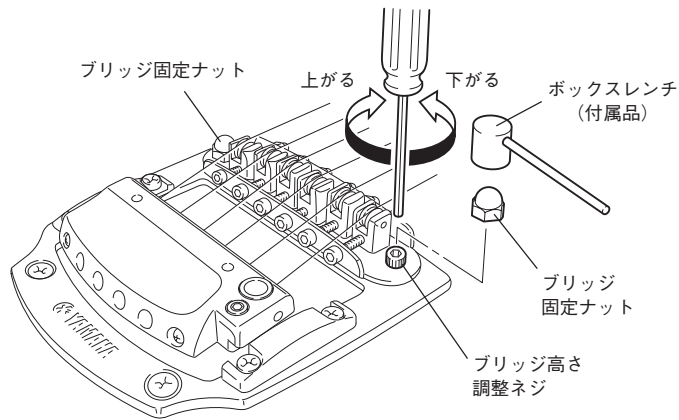


## 弦高の調整

弦高は、弦とフレットとの間隔を示すもので、このセッティングによって演奏性が変わります。  
弦高が高すぎると弾きにくくなり、低すぎるとビリつきの原因になります。

1. 弦をゆるめます。
2. 付属のボックスレンチを使って、ブリッジ固定ナットを1弦側、6弦側とも外します。
3. 付属の六角レンチを使って、ブリッジ高さ調整ネジを回して弦高を調整します。左右のネジを交互に少しずつ回して調整します。  
22フレットと弦との間隔が以下の数値になるように調整してください。
  - ・ 1弦： $2.0 \pm 0.2\text{mm}$
  - ・ 6弦： $2.5 \pm 0.2\text{mm}$
4. 調整ができれば、ブリッジ固定ナットを取り付け、しっかりと締めて固定します。

弦高の調整は、トラスロッド(ネックのソリ)が正しく調整された状態で行ってください。また、弦高を変えるとチューニングも変わりますので、そのつど正しいピッチにチューニングしながら弦高調整を行ってください。



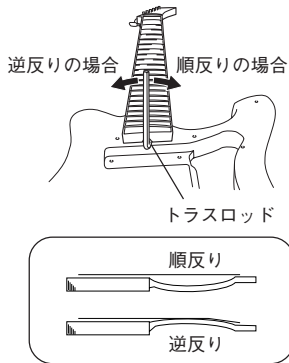
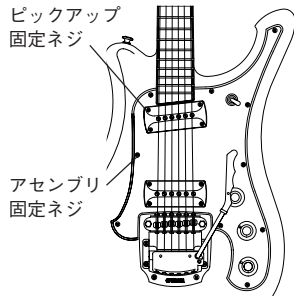
## トラスロッドの調整(ネックのソリの修正)

ヤマハギター/ベースはすべて、出荷時に完璧な調整をしてお届けしていますが、環境の変化や弦ゲージの変更等によりネックの状態が変化する場合があります。ご使用前にネックの状態を、確認・調整なさると万全です。

1フレットと22フレットを押さえたときに、5フレット付近で弦とフレットとの間に0.1~0.2mmのすきまがあるのが正常な状態です。

ネックが反っていてすきまが広すぎたり、逆に弦がフレットに触れている場合は、トラスロッドのナットを回してネックのソリを調整してください。

1. 糸巻から弦を外します。(【弦の交換】参照)
2. ピックアップ固定ネジを外して、ピックアップを2つともボディから離します。
3. アセンブリ固定ネジをすべて(10本)外して、ピックアップとアセンブリをボディから取り外します。
4. 付属の六角レンチを使って、ネックのトラスロッドナットを回して調整します。
  - ・順反りの場合(A)→トラスロッドナットを右(時計方向)に回す。
  - ・逆反りの場合(B)→トラスロッドナットを左(反時計方向)に回す。
5. 調整ができれば、弦を張りチューニングをして、ネックの反りの具合を確認してください。



### 注意

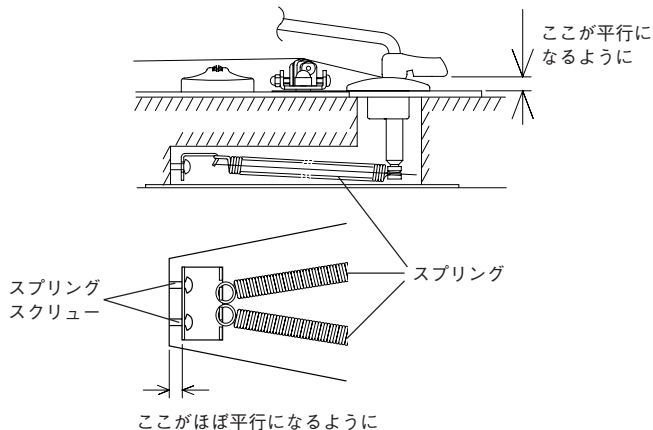
トラスロッドの調整方法がわからない場合は、お買い上げのお店へお申し出ください。

## トレモロユニットの角度調整

トレモロユニットのテールピース部がボディと平行になるように、ボディ裏面のスプリングスクリューを調整します。  
弦のゲージを変えた場合またはスプリングのフック位置を変えた場合は、この角度調整(フローティング量の調整)が必要になります。

出荷時には寺内氏の専用弦がセットされ、スプリングスクリューの調整も本人と同じ設定にされています。また、トレモロハンガーの内側フックにスプリングがセットされているのも寺内氏と同じセッティングです。

1. ボディ裏面のプレート固定ネジ(4本)を外して、プレートを取り外します。
2. スプリングスクリューが2本ありますので、2本のバランスをとりながら、角度が平行になるように調整します。
  - ・テール部が上がっている場合(A)  
→スプリングスクリューを右(時計方向)に回す。
  - ・テール部が下がっている場合(B)  
→スプリングスクリューを左(反時計方向)に回す。
3. スプリングスクリューを動かすとチューニングが変化します。正しくチューニングをした上で再びテール部の角度を調整してください。





## トレモロユニットの高さ調整

トレモロユニットのテールピース部の高さを上下することにより、アームアップ/ダウン時の音程変化量を微調整することができます。

テールピース上部の調整用穴に付属の六角レンチを差し込み、テールピース高さを調整します。

1弦側と6弦側を交互に少しずつ調整し、調整終了後は1弦側と6弦側の高さが同じになるようにしてください。高さに差があると音程変化のバランスがくずれるだけでなく、アームトルクが重くなる場合があります。

### ・音程変化を大きくしたい場合

→ 六角レンチを右(時計方向)に回す。(テールピースが下がる)

### ・音程変化を小さくしたい場合

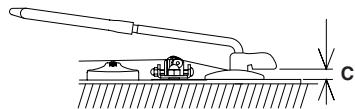
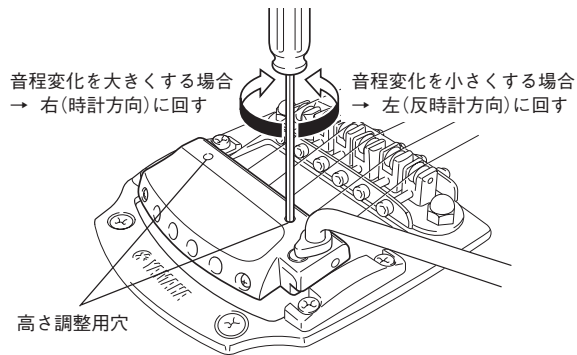
→ 六角レンチを左(反時計方向)に回す。(テールピースが上がる)



注意!

この調整は微妙な音程変化を得るためのもので、範囲を越えて調整を行うと、トレモロユニットの基本性能を満たさなくなる恐れがあります。

特にテールピースを必要以上に上げると、テールピースが外れて思わぬ事故になる恐れがあります。右図Cの間隔が7±2mmの範囲で使用してください。



## アームの脱着方法

本モデルには、“アームから手を離れたときに、演奏のじゃまにならない位置でアームが固定される”アームストッパー機能が付いています。

### ■ アームストッパー機能の設定と解除

ストッパーボタンに付属の六角レンチを差し込み、ストッパーボタンの高さを調整します。

#### ・アームストッパーを使う場合(A)

ストッパーボタンをテールピース上面から2mmくらい出します。

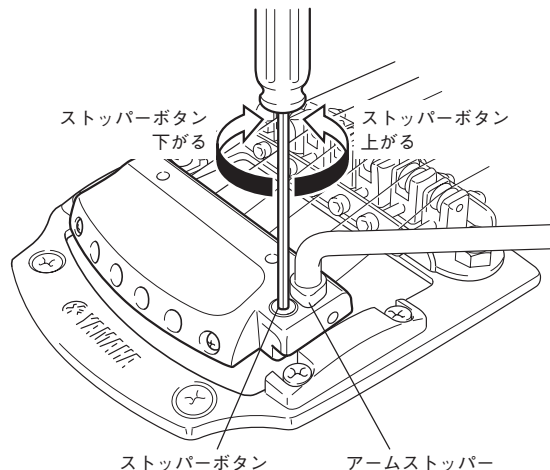
#### ・アームストッパーを使わない場合(B)

ストッパーボタンをテールピース部に完全に埋め込みます。

### ■ アームの脱着方法

アームはネジ込み式です。アームの脱着は、必ずストッパーボタンをテールピース部に完全に埋め込んだ状態で行ってください。

また、アームストッパー底面がテールピース上面にこすらないように、0.5mm程度のすきまを空けてアームを取り付けてください。

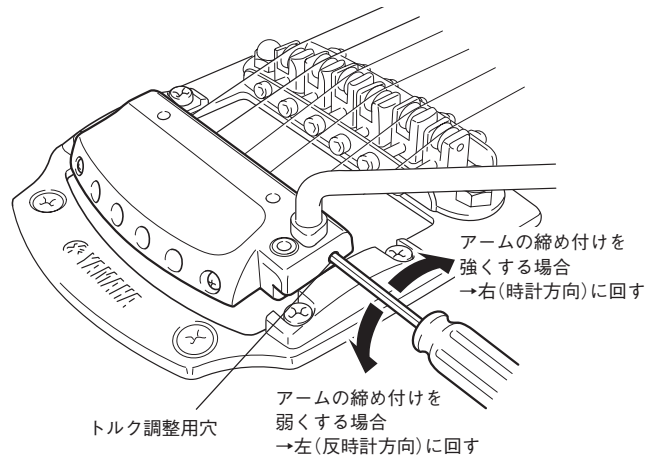


## アームのトルク調整

トレモロアームの固定の具合は、テールピース側面のトルク調整ネジで調整することができます。

テールピース側面のトルク調整用穴に付属の六角レンチを差し込み、アームの固定具合を調整します。

- ・アームの締め付けを強くしたい場合  
→ 六角レンチを右(時計方向)に回す。
- ・アームの締め付けを弱くしたい場合  
→ 六角レンチを左(反時計方向)に回す。



## アームキャップの取付角度調整/アームの長さ調整

トレモロアームのアームキャップの取付角度を調整することにより、お好みのグリップ感を得ることができます。

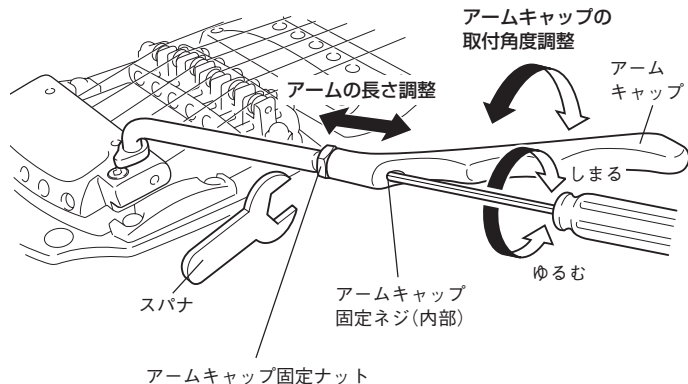
1. スパナを使ってアームキャップ固定ナットをゆるめます。
2. アームキャップ側から付属の六角レンチを差し込み、アームキャップ固定ネジをゆるめます。
3. アームキャップをお好みの角度にしたら、スパナを使ってアームキャップ固定ナットを締め付け、確実に固定します。
4. 付属の六角レンチでアームキャップ固定ネジをしっかりと締め付けます。



注意!

アームキャップ固定ナットおよびアームキャップ固定ネジはしっかりと締め付け、確実に固定してください。確実に固定されていないと機能を満足しないばかりでなく、思わぬ事故を起こす危険があります。

左記の『アームキャップの取付角度調整』をする際、固定位置を調整することで、アーム全体の長さを微調整することができます。



## ピックアップの高さ調整

ピックアップはエレキギターで大変重要な部分です。ピックアップのセッティングが適性でないと、満足のいくサウンドは得られません。ピックアップの高さ(弦とピックアップとの間隔)を調整して、1弦側と6弦側の音量バランスやサウンドを調整します。

ピックアップと弦との距離が近づくほど出力は大きくなりますが、ポールピースと弦との間隔は、2~3mmが適当です。近づけすぎて演奏時にポールピースと弦が接触しないように注意してください。

ピックアップ全体の高さ調整は、高さ調整ネジ(4本)で行います。1弦側と6弦側の音量バランスを調整できます。

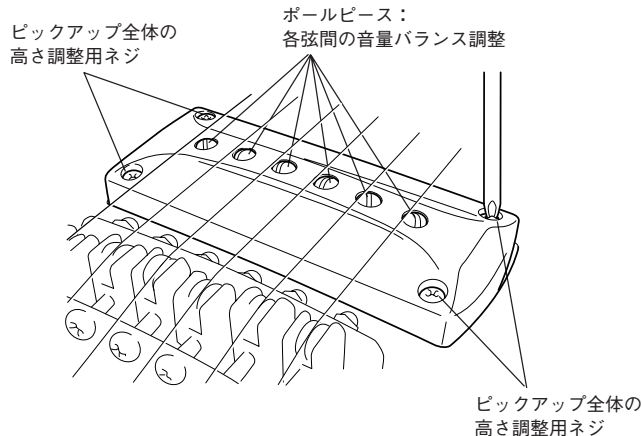
\* ネジ頭のサイズに合ったプラス(+ )ドライバーをご用意ください。

ポールピースはスクリュタイプになっています。各弦間の音量バランスを調整する場合は、マイナスドライバーでポールピースを回すことで高さ調整をすることができます。

\* ネジ頭のサイズに合ったマイナス(-)ドライバーをご用意ください。

### 注意

ポールピースの高さは、出荷時にバランス調整されています。



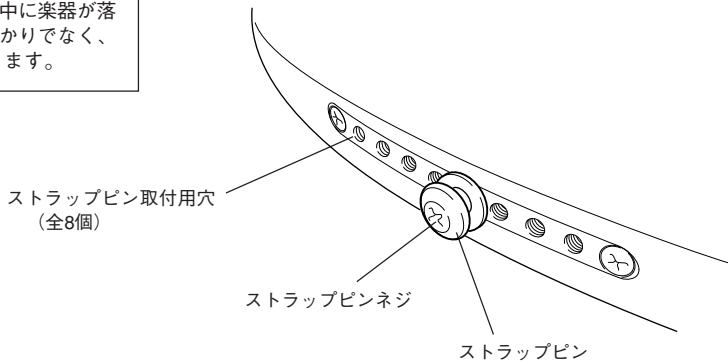
## ストラップピンの移動

ボディエンドのストラップピンの位置を、8ポイントから自由に選ぶことができます。  
体格や演奏スタイルに合わせて、最適なポジションにストラップピンを取り付けてください。



注意!

ストラップピンネジはしっかりと締め付け、  
ストラップピンを確実に固定してください。  
確実に固定されていないと演奏中に楽器が落下  
するなど機能を満足しないばかりでなく、  
思わぬ事故を起こす危険があります。



## ■ 保証とサービス

### ★ 保証期間

ヤマハエレクトリックギターの保証は、ご購入日(保証書による)より満一ヶ年と致します。

### ★ 保証書

ヤマハエレクトリックギターに添付されております保証書には、販売店の店頭にて諸事項をご記入の上、大切に保管してください。

### ★ アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店または右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。但し、消耗品については有償サービスとなります。尚、改造品についての保証は致しかねる場合がございますのでご注意ください。

### ★ 保証期間後のサービス

サービス料金を頂きますが、責任を持って修理調整致します。

# ヤマハ株式会社

## 弦打楽器営業部 営業課

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 ☎053-460-2433

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南十条西 1-1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月 1184	TEL (044) 434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町 911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町 8-7 ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原 6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134

### 【本社】

カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町 911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053)465-1158
------------	-----------	------------------------	-------------------

## YAMAHA

弦打楽器営業部	〒430-8650	浜松市中沢町 10-1	TEL (053) 460-2433
EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)	TEL (011) 512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022)222-6147
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5471
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9心斎橋ブラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL (082) 244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092)472-2130

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。



ヤマハ株式会社

Printed in Japan